

令和2年度清水町一般会計補正予算第11号 事業一覧【新型コロナウイルス対策分】

款	事業名	今回補正額	財源内訳				総事業費	地方創生臨時交付金充当金額	事業内容
			国庫支出金	地方創生臨時交付金	道支出金	町債			
1 衛生費	清水町福祉・医療施設等感染症拡大防止支援事業	2,500					5,000	2,300	【別紙シート01のとおり】
2 商工費	中小企業緊急支援事業（年末給付分）	6,011					66,033	32,000	【別紙シート02のとおり】

事業シート (概要説明書)

事業名	中小企業緊急支援事業 (年末給付分)		事業開始年度	令和2年度	
予算事業名	商工振興事業		担当課名	商工観光課	
総合計画事業名			担当係名	商工労政係	
総合計画基本構想			作成責任者	高橋 英二	
実施の背景	新型コロナウイルス感染症の影響により、消費が大きく落ち込み町の経済に大きな影響をもたらしている。				
目的 (何をどうしたいのか)	新型コロナウイルス感染症による影響で売上げが特に減少した町内の中小企業者に対して、緊急支援給付金を交付することにより、事業の持続と雇用の確保を図る。 緊急支援事業交付金については、5月の補正予算及び9月補正で売上額が前年と比較して20%以上減少した者に対して給付金を交付した。 今回は、新たに令和2年12月の売上額を前年同月と比較して20%以上または250万円以上減少した者に対して給付金を交付する。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	町内中小企業者		対象者数 (全住民に対する割合)	
				人 (%))
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 (委託先:) <input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標	
	給付金 (参考: 既定予算残額 27,353千円) チラシ折込手数料	6,000 千 11 円			
	【対象事業者】 宿泊業、飲食業、サービス業、卸売業、小売業、食品製造業、旅客運送業を対象に、令和2年12月の売上額 (税抜) が前年対比で20%以上減少したもの。また、新規開店の場合は、売上額 (税抜) の多い連続した2か月の平均額と対比するものとする。 【給付金額】 ア 売上減少割合が20%以上40%未満の場合 上限20万円 イ 売上減少割合が40%以上60%未満の場合 上限35万円 ウ 売上減少割合が60%以上の場合 上限50万円 エ アからウにかかわらず、売上減少額が250万円以上となる事業者へは100万円				
	関連事業 (同一目的事業等)				
コスト	3年度以降 (計画)		2年度 (予算)		うち12月補正分
	事業費合計	千円	66,033 千円	6,011 千円	元年度決算 千円
	事業費内訳 (2年度分)	◇既定予算額 支援給付金 60,000千円、チラシ折込手数料 (制度周知) 22千円 ◇令和2年3月及び4月と前年同月売上減少分を基礎とした支援給付額 24,394千円 ◇算定対象期間を令和2年3月から6月と拡大した支援給付追加額 8,253千円 ◆令和2年12月売上減少分を基礎とした支援給付額については、これまでの給付額と同程度33,000千円の給付を想定し6,000千円を追加。 既定予算額60,000千円-支出済額32,647千円=予算残額27,353千円 清水町中小企業緊急支援事業給付金 6,000千円 (今回増額補正) チラシ折込手数料 (制度周知) 11千円 (今回増額補正)			
財源内訳	国道支出金	千円	32,000 千円	千円	千円
		国道支出金の内容 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			
	地方債	千円	千円	千円	千円
	その他特財	千円	千円	千円	千円
		その他特財の内容			
	一般財源	千円	34,033 千円	6,011 千円	千円
	財源合計	千円	66,033 千円	6,011 千円	千円